



# 秋月AE-TB67H450とM5Stack(Basic)とRaspberry Pi を使った電磁石の制御その2(IoTLT版)

IoT縛りの勉強会! IoTLT vol.113 2024 7/17 福山大学工学部情報工学科 山之上卓













# 自己紹介









#### 福山大学の教員

着る電光掲示板、 テレポートドレッサー、 シン3次元表示装置

テレポーテーション システム作成中







#### 自己紹介

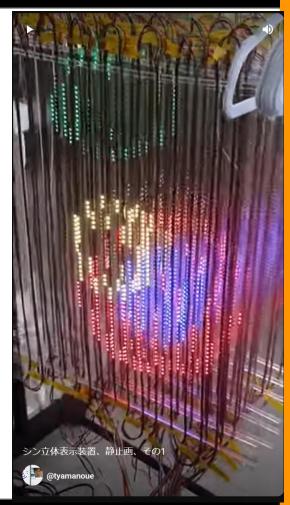








- 1980年 interface LKIT-16によるFORTRANシステム
- ●1980年 bit ナノピコ教室じゃんけん大会優勝
- 1988年日本経済新聞「パソコン通信使い電算機言語開発」
- ●2016年 ACM SIGUCCS Hall of Fame
- ●「ギャル電の意識の低いプレゼンバトル」優勝 @Geek night 広島, 2017 12/9
- MF Tokyo 2018, MF Taipei 2018, NT広島2019
- NT金沢2022, OMMF2022, MFT2023, MFK2024
- ヒーローズ・リーグ2023 トランジスタ技術賞受賞
- 情報処理学会フェロー









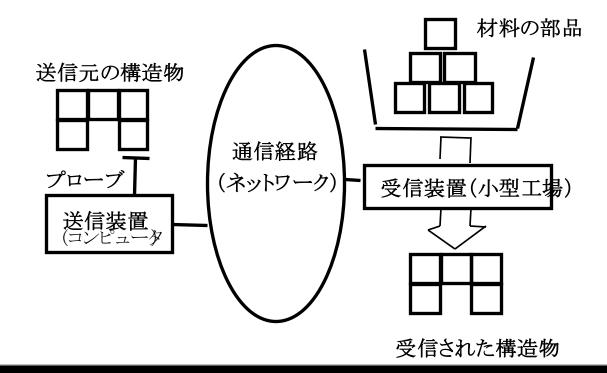








# ・ テレポーテーション(物体瞬間移動)を実現したい!





### 経緯









- ・ 1994 うどんをネットワークで送りたい@JAINコンソーシアム@ 志賀島
- 1995年、What How For 北九州(産学官交流サロン)で開発 スタート
- 1999年、特許出願(2009年査定)
- ・ 2002年、試作開始、シミュレータ作成
- · 2021年、Real->Virtual 転送成功(IoTLT vol.93)





# 背景その2 Real->Virtual













### 経緯









- ・ 2023年12月 Qiita, IoTLT Advent Calendar 11日目 「秋月AE-TB67H450とM5Stack(Basic)とRaspberry Piを使っ た電磁石の制御」
  - 電磁石を使ったテスラダイスの把握と分離
    - ・ネオジム磁石の脅威
      - -電流を流さないのにくっつく
      - -電流の向きを変えても離れない



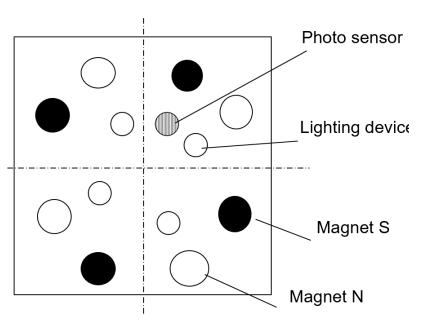
# 部品間接続•通信機構

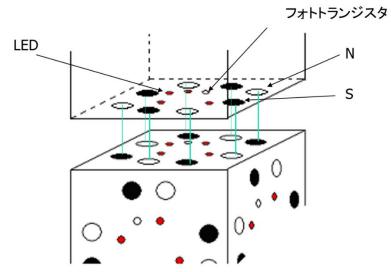
















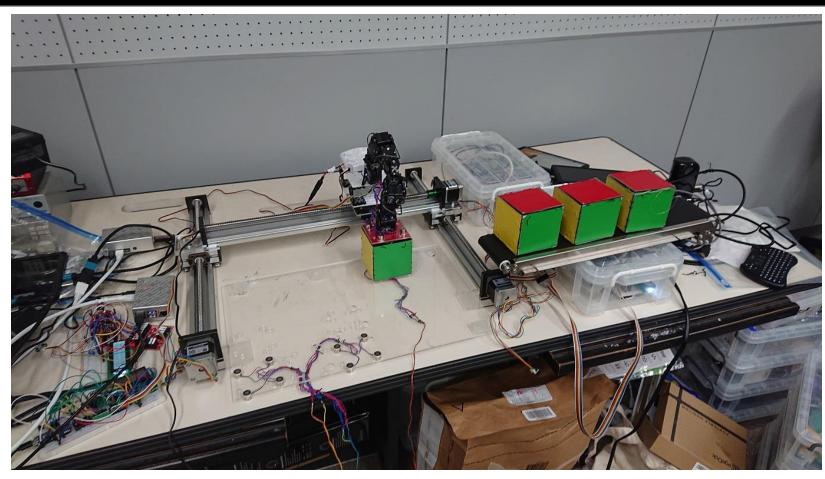
# 製作中の受信装置(自動工場)













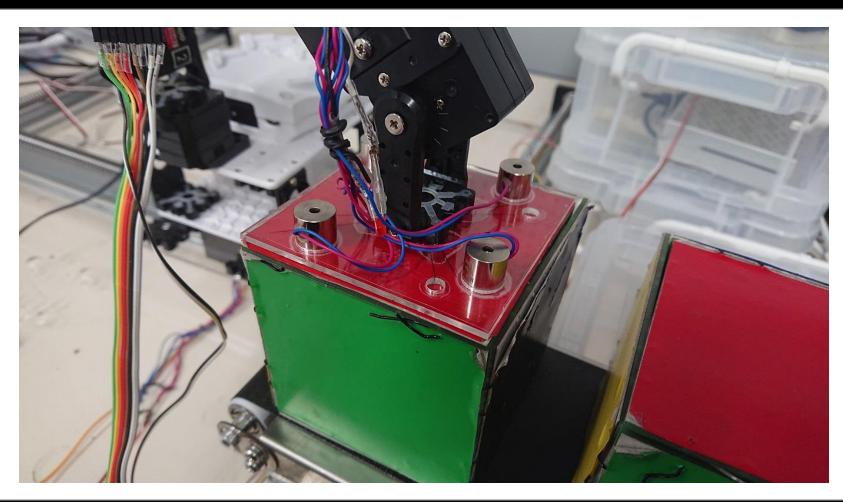
# ロボットアームの 部品把握部分













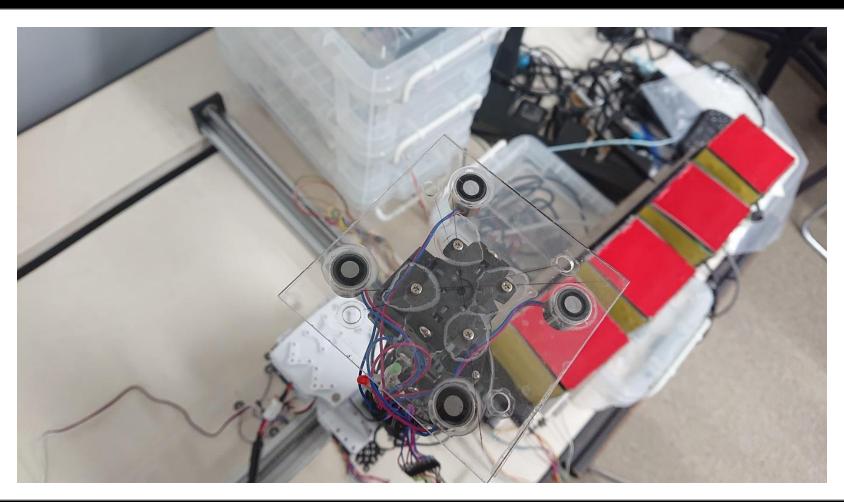
# ロボットアームの 部品把握部分











#### やってみた









- うまくいかないかもしれないけど、とにかくやってみた
  - Youtube : <a href="https://youtu.be/JHxr8vVwPaU?si=Qs8htKyiGSgnQcD3">https://youtu.be/JHxr8vVwPaU?si=Qs8htKyiGSgnQcD3</a>





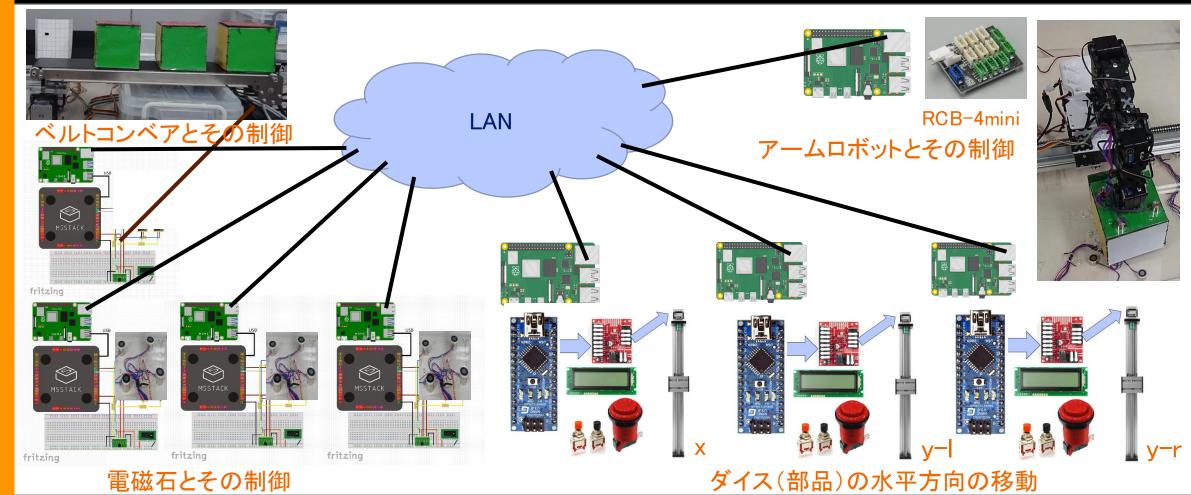
#### Hardware













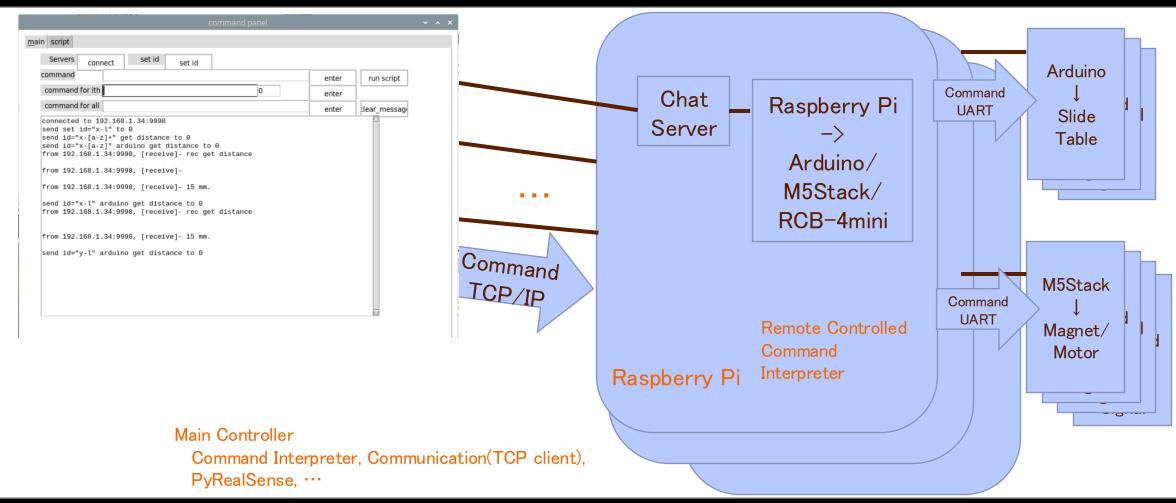
#### Software



















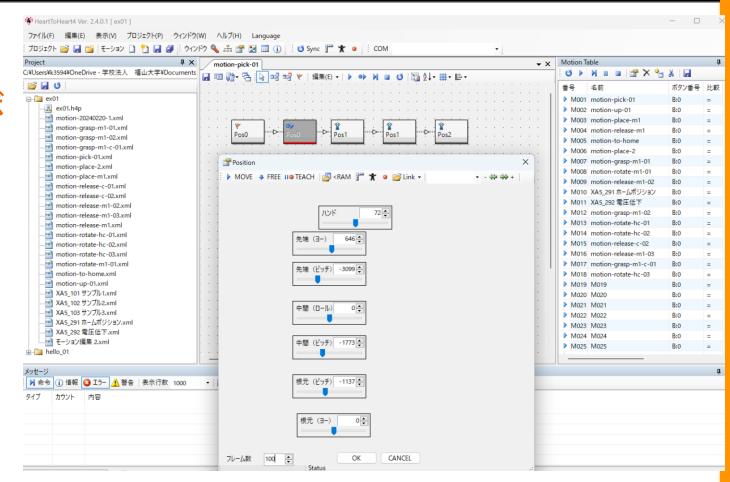


## ・アームロボット

- Kondo KHR-A5, サーボ モータ追加。高出力サーボ モータに一部交換

## ・ アームの動きの作成:

- Windowsの Heart2Heart4 で作成, RCB-4mini に書き 込み
- Raspberry Pi -動作番号->UART->RCB-4mini





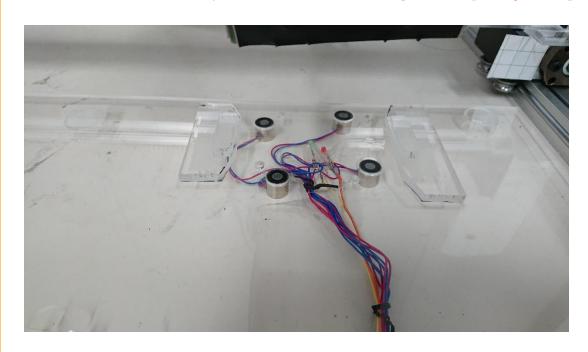


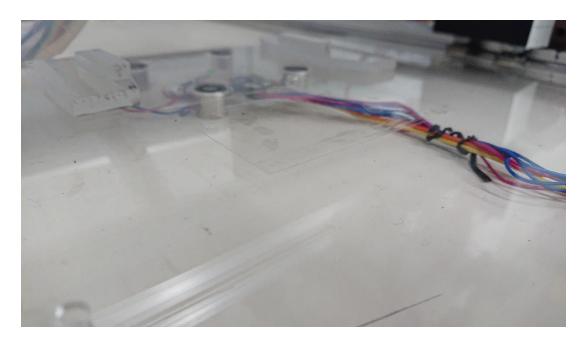






- 事前の予想どおり、アームの電磁石とダイスが離れない
  - ちょっとずるしました。->回転時に引っかかり ->シールー枚+







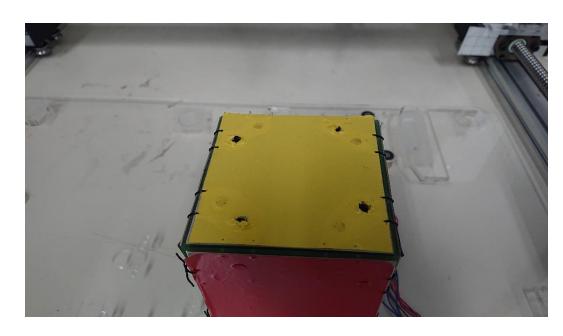


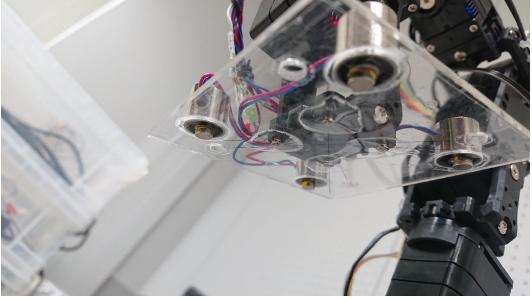






電磁石が発熱して相手側のダイスの面の被服を溶かして、 ネオジム磁石を剥がしてしまいました。















・ 熱対策… すべての面にステッカーの保護シールを貼りました





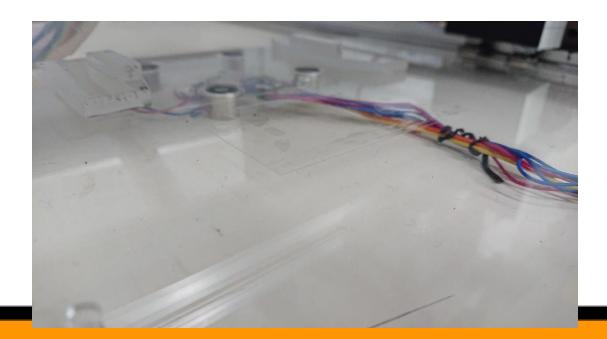








- 回転場所の電磁石を張り付けているシールに、ダイスが引っ掛 かって、意図した動作にならない。
  - ひっかかりがないように、別のシールを張り付け。





#### 全体の制御









- ・ 受信装置の制御は、main controllerでpython の文の列を exec関数で実行することで実施。
- 各文は、スライドテーブル、ベルトコンベア、電磁石、アームを制御する機構のついたRaspberry
   Pi+(Arduino/M5Stack/RCB4-mini) ヘコマンドを送り、各担当機器を制御。

```
time.sleep(10.0)
self.send_init_belt_command()
self.send_arm_motion_command("1")
time.sleep(8.0)
self.send_magnet_command(0,"go")
time.sleep(2.0)
self.send_stop_belt_command()
time.sleep(1.0)
self.send_arm_motion_command("2")
time.sleep(4.0)
self.send_magnet_command(0,"stop")
self.send_move_command(28.0,100.0)
```



## おわりに









- ・アームロボットの動き(と電磁石の磁界の順方向/逆方向/停止の切り替え?)を使って、テスラダイス(部品)の把握、切り離し、垂直方向回転、水平方向回転、ができた。
- · (受信装置の方)あともう少しであってほしい
- ・ Virtual 空間の「物」を同じものを組み立てるための受信装置の制御情報に変換できたら、「テレポーテーション」が、一応、実現できるはず。

#### 謝辞









What How For Kitakyushu



Project TESLA